

日本学術会議地球惑星科学委員会・IUGG 分科会

IAMAS 小委員会

(第24期・第1回) 議事録

1. 日時：2018年5月16日(水) 12:40-13:45
2. 会場：つくば国際会議場402号室
3. 出席者：中村尚[委員長]、浮田甚郎[幹事；議事録]、三好建正[幹事；ウェブ参加]、  
中島映至、塩谷雅人、近藤豊、高薮縁、江守正多各委員(計8名)  
欠席：佐藤薫、鬼頭昭雄、松本淳各委員

4. 配布資料

- 資料1 第24期 IAMAS 対応小委員会設置提案書・委員名簿  
資料2 前回議事メモ  
資料3 IAMAS/IUGG 最新状況報告

5. 議事

[1] 出席者8名の互選により、中村委員(世話人)が第23期に引き続き第24期の委員長を務めることが決まった。中村委員長から、浮田委員、三好委員が幹事に指名され、承認された。

[2] 中村委員長から説明があり、本小委員会は前期に引き続き IUGG・IAMAS を中心に各種国際委員会に関する情報の共有と提供、日本気象学会との連携を主に活動する事を確認した(資料1)。

[3] 第23期第5回会合の議事録(資料2)を確認した。

[4] 最新の国外情勢に関する情報交換

中島委員から、資料3を用いて2017年開催の IAPSO-IAMAS-IAGA Science Assembly (Cape Town)を総括した説明があった。2019年開催の IUGG General Assembly (Montreal)、2021年に韓国釜山で開催される IAMAS-IAPSO-IACS Science Assembly などに関して今後の日程を確認した。

[4] その他

その後は、日本気象学会学術委員会と合同で、航空機観測に関する情報交換、討議を

行った。日本学術会議地球・惑星科学委員会地球惑星圏分科会が主催した大型研究計画ヒアリング（2018年3月28日実施）で受けた指摘を踏まえ、マスタープラン2020の採択に向けて今年10月ぐらいを目処に研究計画書の改訂を目指す事を確認した。

中島委員、高薮委員を中心に、地球惑星圏分科会からの提言「我が国の衛星地球観測のありかたについて」（2017年7月14日発出）以降の状況説明及び情報交換を行った。その中で、学術会議に地球観測に関する分科会を新設し、公開された地球観測グランドデザインをどの様に内閣府宇宙政策委員会のロードマップに反映させるかが重要であることを確認した。